

授業概要

公認心理師の指定科目である。

公認心理師の法的責任及び5つの分野に関する制度や法律等について学ぶ。

教育分野、保健・医療分野、福祉分野（児童、高齢者、障害者）、司法・犯罪分野、産業・労働分野における制度や法律等について講義する。

3名の各分野の専門家がオムニバス形式で講義を行う。

授業計画

第1回	公認心理師の法律と法的責任	長沼秀明
第2回	教育分野における法律	長沼秀明
第3回	教育分野における法律	長沼秀明
第4回	保健・医療分野における法律	西内俊朗
第5回	保健・医療分野における法律	西内俊朗
第6回	保健・医療分野における法律	西内俊朗
第7回	福祉分野における法律	西内俊朗
第8回	福祉分野における法律	西内俊朗
第9回	福祉分野における法律	西内俊朗
第10回	司法・犯罪分野における法律	西内俊朗
第11回	司法・犯罪分野における法律	西内俊朗
第12回	司法・犯罪分野における法律	西内俊朗
第13回	産業・労働分野の法律	鈴木潤也
第14回	産業・労働分野の法律	鈴木潤也
第15回	産業・労働分野の法律	鈴木潤也
第16回	試験	

到達目標

教育分野、保健・医療分野、福祉分野、司法・犯罪分野、産業・労働分野の法律と制度について理解できる。また、それぞれの分野での課題や心理的支援について、公認心理師の役割を理解できる。

履修上の注意

- ・公認心理師の指定科目である。
- ・出席は3分の2以上である。
- ・3名の講師によるオムニバス講義である。

評価方法

- ・（1）教育分野、（2）保健・医療分野、福祉分野、司法・犯罪分野、（3）産業・労働分野の3分野について、それぞれレポート課題を提出。
- ・3つの課題レポートによる評価（90%）と受講態度（10%）による総合評価。

テキスト

- ・担当教員の指示に従うこと。
- ・他に適宜資料を配布します。